



イザヤ四十一章5、6節  
義をもってあなたを召し、  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。

天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者に  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。

わたし、主は、

## 生きて働かれる創造主 In フィリピン

収穫は多いが、働き手が少ない。  
だから、収穫の主に、収穫のために  
働き手を送ってくださるように祈りなさい。  
(マタイ 9:37, 38)

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

公立フィリピン科学高校ウエストヴィザヤス校にて

### Genesis Philippines

#### ジェネシスフィリピン (仮)

9月1日から10日までフィリピン(比)にて、短期創造宣教に行ってきました。今回の訪比の第一目的は、比国内の創造を確信している人々が、創造団体として立ち上がるために必要な手助けをすることでした。さらに比国内の各所で、創造論の講演を行うことになっていました。また、現地の日本語教会で創造を伝える機会も与えられました。

今回の訪比は、3ヶ月前に沖縄で開催された全アジア創造カンファレンス日本大会(AACC Japan)にフィリピンから参加した方々の招きに応じたものです。

沖縄では、大会後にフィリピンチームに特別講義をする機会があり、その時、彼らの何人かが科学者であることを知りました。そこで、是非フィリピンの国内向けの創造宣教の働きをしてはどうかと勧めたのです。そのことがきっかけとなって今回招かれました。

#### マニラ日本語キリスト教会

9月2日日曜日は、仙台バプテスト神学校の森谷正志師に勧めていただいたマニラ日本語キリスト教会で話をしました。CSで「恐竜の謎」、礼拝で「創造主の技術」について語りました。恐竜の好きな子供に話を聞かせようと何時間もかけて遠方から車で来た家族もいました。この教会では、聖書を共に学ぶことに力を入れていて、今回、自然や恐竜を聖書の視点で学べたことを喜んでくださいました。





現地教会の創造宣教チームと共に  
公立フィリピン科学高校にて

ジェネシスフィリピンという名をつけても良いですか？」と尋ねました。私は「もちろん、何の問題もありません。むしろうれしいです。」と答えました。食事の席での雑談の中での話なので、実際にどうなるかはわかりませんが、皆でジェネシスフィリピン（仮）の今後のビジョンを話し合うすばらしい時となりました。

### 講演とフォローアップ

今回の私の訪比に当たって多くの講演場所が用意されていました。ミッション系のセントラル・フィリピン大学 (CPU)、同附属小学校 (CPUES)、同附属高校 (CPUHS)、同医学部 (CPUMed)、ウエスト・ヴィザヤス州立大学 (WVSU) 主催の地域科学数学研究普及フォーラム、同大学聖書研究会 (WVSUCBF)、公立フィリピン科学高校西部ヴィザヤス校、ドーン・バプテスト神学校 (DBS)、ドーン・バプテスト教会などです。【( ) 内は表1の会場名】

9日の礼拝後に主任牧師のダニー・バーム・エスコバル牧師と昼食を共にしました。これまでの教会の働きが少しずつ実り、今年は特に教会員の中に地域の学校で要職を占める人々が多く起こされ、そのことがあって今回これらの場所で講演する機会が与えられたそうです。そして私の訪イロイロ市での講演が、今後フィリピン国内に向けた創造宣教のためのよい契機となったと言ってくれました。

フィリピンは、90%近くがカトリックと言われていますが、そのほとんどは聖書を読んだことも聞



セントラル・フィリピン大学附属高校「バラミン：創造された種類」の講義

いたこともないそうです。ミッション系の学校でも学生のほとんどは信仰をもっていないとのことでした。

州立大学主催の数学科学フォーラムは地方全域から公立学校の教師たちが集いました。最初に賛美の独唱があり、次に国歌斉唱、そして私の基調講演です。このような集会で最初に賛美から始まったことは私にとってうれしい驚きでした。ここでは、「カリフォルニア大学で科学や進化論を学んだのになぜ創造を信じているのか」というタイトルで語りました。

また学校での学生向けの講義では、事前にアンケート用紙が配られており、「イエスを救い主として信じる (イエス)」「聖書を学びたい (聖書)」「イエス様の救いを信じるし聖書を学びたい (両方)」のチェック欄と「質問・感想 (質・感)」を書く欄そして連絡先の記入欄がありました。すでに信仰をもっているの中に人は、どこにもチェック人や「聖書を学びたい」だけにチェックを入れた人もいます。【( ) 内は表1の項目名】

すべての授業 (公立フィリピン科学高校さえも) は祈りから始ま

り、国歌斉唱があり、私の講義があって最後に教会の創造担当牧師たちによる招きが行われました。公立学校の授業が祈りから始まるなど日本では考えられない経験です。私の講義内容は、私が普段「創造を伝える働き人養成講座」で伝えている内容で、「創造主の技術 (技術)」「恐竜の謎 (恐竜)」「天地創造の1週間 (創造)」「人を生かす世界観 (世界観)」「バベルの

塔と言語の起源 (言語)」「バラミン：種類に従って (種類)」です。

【( ) 内は表1の講演題】

表1は、今回私を招いたチームの一人、小学校校長のジャネット・ハコ先生が回収されたアンケートをまとめたものです。そしてこの結果にも驚かされました。

全体の総計を見ると、講演を聞いた991人のうち368人 (287+81) がイエス様を救い主と信じ受け入れ、274人 (193+81) がこれから聖書を学び始めたいと応答しました。また、講演内容に対する様々な良い反響がありました。(別紙参照)

これは、フィリピンの学校で福音を語ることが許されている国状と、地域教会の地道な働き、そして日本から輸出した創造宣教の働きがうまく溶け合い、背後にあっ

### フィリピン創造ネットワーク

翌3日はフィリピン創造ネットワークというフィリピンの創造論者のネットワークを組織しようと努力しているイスラエル・ソルツラ氏が3時間かけて会いに来られました。同氏はオーストラリアの創造団体クリエーション・ミニストリーズ・インターナショナル (CMI) の支援を受けながらフィリピン国内で創造論者のネットワーク化を進めています。

私が「創造を伝える働き人養成講座」でしている話を伝えることができました。そして、9日の日曜日にこれまでで初めて創造について講演する機会が与えられたので祈ってほしいとのことでした。後日彼から報告によると、とてもよい講演会になったそうです。今後の彼の働きが楽しみです。

造を伝えたらよいかについてミーティングをしました。私自身の20年余りの創造論宣教の経験を通して学んだこと、気をつけるべきこと、今考えていることなどを伝えました。

ミーティングはさらに7日の夜にも引き継がれ、私もできる限りのアドバイスをしました。

9日は、私のフィリピン最後の夜でしたので、レストランに招いてくださいました。そしてまた今後の働きについての話し合いとなりました。その時団体名の話が出、一人が「ジェネシスフィリピンはどうか」と提案しました。そして何人もが賛成しました。私がジェネシスジャパンのロゴ入りポロシャツを着ていたこともあったかと思います。そして私に「ジェネシスジャパンのように私たちも

### イロイロ市

4日火曜日の午後にイロイロ市に飛びました。ドーン・バプテスト教会の中に創造論のオフィスがあり、ピーター・ポール・フロレンス牧師がその責任者です。レストランに招かれ、創造宣教に関心のある方々と夕食を共にしながら今後どのようにフィリピンで創



基調講演を行ったウエストヴィザヤス州立大学主催  
地域科学数学研究普及フォーラムの横断幕

日程	時間	会場	講演1	講演2	出席数	応答数	イエス	聖書	両方	質・感
2018/9/5	8-10AM	CPUES	恐竜	創造	319	236	83	127	12	14
2018/9/5	10-12AM	CPUMed	技術	世界観	142	96	70	12	9	5
2018/9/5	5:30-7:30PM	WVSUCBF	技術		160	49	26	2	8	3
2018/9/6	8-11AM	CPUHS	技術	種類	149	131	60	32	22	17
2018/9/6	6-8PM	DBSMC	言語		125	13	2	9	2	0
2018/9/7	8-11AM	PSHS	技術	種類	96	85	46	11	28	0
総計					991	610	287	193	81	39

表1 聖書的創造の講義と創造宣教牧師の招きに対するアンケート結果



マニラ日本語キリスト教会にて



てすべてを導いておられる主のみわざとしか言いようがありません。今後フィリピンチームが、信じた人、聖書を学びたい人のフォローアップに追われます。彼らのためにお祈りください。

AACC Japan では、北海道の矢崎弘志医師が神学生やクリスチャンの大学生に行った調査報告がなされ、ノアの大洪水のDVD視聴前後でより聖書通りに信じる人が増える傾向が見られこと、創造を伝えることの意義が語られました(表2参照)。

フィリピンの短期創造宣教アンケート結果には、ノンクリスチャンに対しても創造を伝えることの意義が顕著に現れています。聖書的創造を学ぶことは聖書信仰を確立し、福音を確信させるのです。

フィリピンでの働きを思う時、準備・講演・招きすべてが一つのチームとして一体となって働きました。これこそ生きて働かれるすばらしい主のみわざです。

スコアと検定結果	視聴前スコア平均	視聴後スコア平均	増加率	有意差有意水準5%
1. 神は、文字通り6日間で天地万物を創造された	4.17	4.5	8%	なし
2. 地球の年齢は、約6000年である	3.17	3.88	22%	あり
3. アダムの子孫以前、生物学的死は存在しなかった	3.99	4.08	3%	なし
4. ノアの洪水は、全地球を覆った	4.29	4.63	8%	あり
5. ノアの洪水によって、地層ができた	3.54	4.5	27%	あり
6. 全人類は、ノアの子孫である	3.88	4.54	17%	あり
7. 恐竜は、人間と同時代を生きていた	3.16	3.71	17%	なし
8. 化石は、進化の証拠である	3.71	4.42	19%	あり
9. 進化論は、科学的に証明されている	4.09	4.46	9%	あり
10. 聖書は、進化論に従って解釈してもよい	4.09	4.59	12%	あり

日本でもさらに創造を伝える講演者が増え、教会と一つとなって働けば、どれだけ福音が伝わるでしょう。ぜひ「養成講座」で提供する資料を用い、創造を伝えていただきたいのです。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。(マタイ 9:37, 38)」と言われたキリストのことばを思わされませ。ぜひこの働きのため、働き手のためにお祈りください。

### 献金のお願い

国内外に創造のみわざを伝えるジェネシスジャパンの働き前進のためぜひご支援ください。  
 ゆうびん振替 00350-7-3364  
 ゆうちょ銀行 10650-52405611

### 講座・イベント案内

■ジェネシスジャパン  
 秋の創造セミナー  
 2018/10/25(木)～27(土)  
 長野県・ホテルグリーンプラザ白馬  
 詳細のお問い合わせ・お申し込み・  
 セミナーや講演のご依頼は、  
 ジェネシスジャパンまで

## 創造を伝える働き人養成講座



### 【募集要項】

- ・聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

### 講座の目的と概要

- \* 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
  - \* 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
  - \* 創造を伝えるのに使える資料の提供
  - \* 修了証授与 (全日程参加者)
  - \* 創造論を用いての個人伝道、CS や教会でのメッセージ、講演ができるように協力
  - \* 創造論伝道で励まし合える仲間を育む
- 2泊3日5食・定員12名・参加費3万円

### 講座開催予定

北海道・帯広(英語) 10/17(水)～19(金)  
 高知県・足摺岬(日本語) 2019/1/29(火)～31(木)

詳細はジェネシスジャパンへお問い合わせください